

報道関係者各位

PRESS RELEASE 2016年5月10日

5月25日(水)日本公開記念トークイベント開催
カンボジア出身ソト・クォーリーカー監督×渡辺えり氏
映画『シアタープノンペン』を語る
第27回東京国際映画祭 国際交流基金アジアセンター特別賞受賞作品



国際交流基金(ジャパンファウンデーション)アジアセンターは、2014年に初監督作『The Last Reel』(邦題『シアタープノンペン』^{*1})で、第27回東京国際映画祭「アジアの未来」部門国際交流基金アジアセンター特別賞を受賞したソト・クォーリーカー監督を、今回本賞の副賞として日本に招き、この作品の日本公開(2016年7月2日～岩波ホール他)を前に予告編の上演とあわせ、公開トークイベントを行います。イベントには、劇作家・演出家・女優・歌手と多彩な分野で活躍する渡辺えり氏をナビゲーターに迎え、制作者の視点からソト・クォーリーカー監督の映画を紐解き、映画『シアタープノンペン』制作の裏側や、監督の映画制作への思いを探っていただきます。

ソト・クォーリーカー監督は、1973年カンボジアに生まれ、クメール・ルージュ政権下、混乱と内戦の時代に育ち、これまで『トゥームレイダー』のライン・プロデューサーを務める他、自身の制作会社ハヌマン・フィルムズで制作した映画『Ruin』が2013年ヴェネチア国際映画祭審査員特別賞を受賞するなど、各国の映画祭から高く評価されています。また、日本を含むアジアの監督3名が、ひとつのテーマのもとにオムニバス映画を共同製作する国際交流基金アジアセンターと東京国際映画祭共同の映画製作プロジェクト『アジア三面鏡』では、行定勲監督、プリランテ・メンドーサ監督と共に監督の1人として選ばれ、今秋の上映に向け作品の制作をすすめているなど、今、現代カンボジアの映画界で活躍する女性監督として、期待を集める注目の若手監督です。

つきましては、貴メディアでの公開トークイベントのご紹介、当日のご取材をご検討いただけますと幸いです。準備の都合上、取材をご希望の際には、事前にご連絡いただきますようお願い申し上げます。

*1:2014年の第27回東京国際映画祭では、原題:『The Last Reel』、邦題:『遺されたフィルム』のタイトルで上映

■公開トークイベント「『シアタープノンペン』を語る」概要

- 【日時】 2016年5月25日(水) 19時～20時30分(開場18時30分)
- 【会場】 国際交流基金 JFIC ホール[さくら] (東京都新宿区四谷4-4-1)
- 【登壇者】 ソト・クォーリーカー、渡辺えり
- 【参加費】 無料(予約優先) 【定員】 100名 【言語】 日本語/英語(同時通訳)
- 【主催】 国際交流基金 【協力】 株式会社パンドラ

◇予約方法: メールにて、お名前およびご所属を明記の上、件名を「5/25 ソト・クォーリーカー監督公開イベント」とし、アドレス jfac_vdp_info@jpf.go.jp までお知らせください。(5/23 締切)

イベント、国際交流基金アジアセンター特別賞の詳細についてはウェブページをご覧ください。

<http://jfac.jp/culture/events/sothokulikar-160522/>

●主催者・本事業に関するお問い合わせ: 国際交流基金 アジアセンター文化事業第1チーム(担当:滝本、村田)

Tel: 03-5369-6040 / E-mail: jfac_vdp_info@jpf.go.jp

●取材に関するお問い合わせ: コミュニケーションセンター(担当:川久保、森)

Tel: 03-5369-6089 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp